

音楽

「手話で思いを伝えよう」

川崎市立稗原小学校

単元（題材）目標

- 1年生らしく，明るくのびのびと元気に歌う気持ちを育てる。
- 気持ちを伝える手段には手話があることを知り，障がいについて理解を深める。

（1）実施時期

7月～9月

（2）対象（学年等・人数）

第1学年1組 33名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

学級担任

助言者：音楽専科教員

（4）実施内容

朝の歌で『世界がひとつになるまで』や『ビリーブ』を歌ったところ，かつて在籍をしていた幼稚園で数人が手話をやったとの声上がり，すぐに他の児童も「やってみよう」という雰囲気になった。1年生らしい歌声と，思いを伝え合う手段として手話の存在を感じてほしいという担任の思いが重なり，すぐに練習が始まった。既に手話で歌を表現できる子どもたちと担任が中心となり，一つひとつの動きをみんなで確認して覚え，全員がすぐに手話に慣れ親しむことができた。

練習の過程では，担任から手話とは何か，どんな時に使うのかについて補足の説明を行った。

（5）成果

- 歌に手話をつけることで，さらに歌う表情が豊かになった。
- 思いを伝える手話を覚えたことにより，自信をもつてのびのびと表現する力がついた。
- 歌の意味を，手話の動きを通してより理解することができた。
- 手話をしながら歌うか活動を通して，クラスの一体感をより感じるすることができた。

（6）その他

練習した成果を朝会や地域の高齢者との交流会で披露した。